

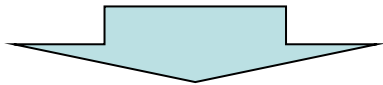
**立憲民主・無所属の会さいたま市議団
「基本政策『「市民と共に明日を創る
2023』」評価結果（中間報告）**

2024年11月17日

「市民と共に明日を創る2023」評価委員会

本日の内容

- ① マニフェストとは何か
- ② 評価方針・評価基準
- ③ 評価結果
- ④ おわりに



上記の内容となります。
20分程度で進めます。

マニフェストとは何か



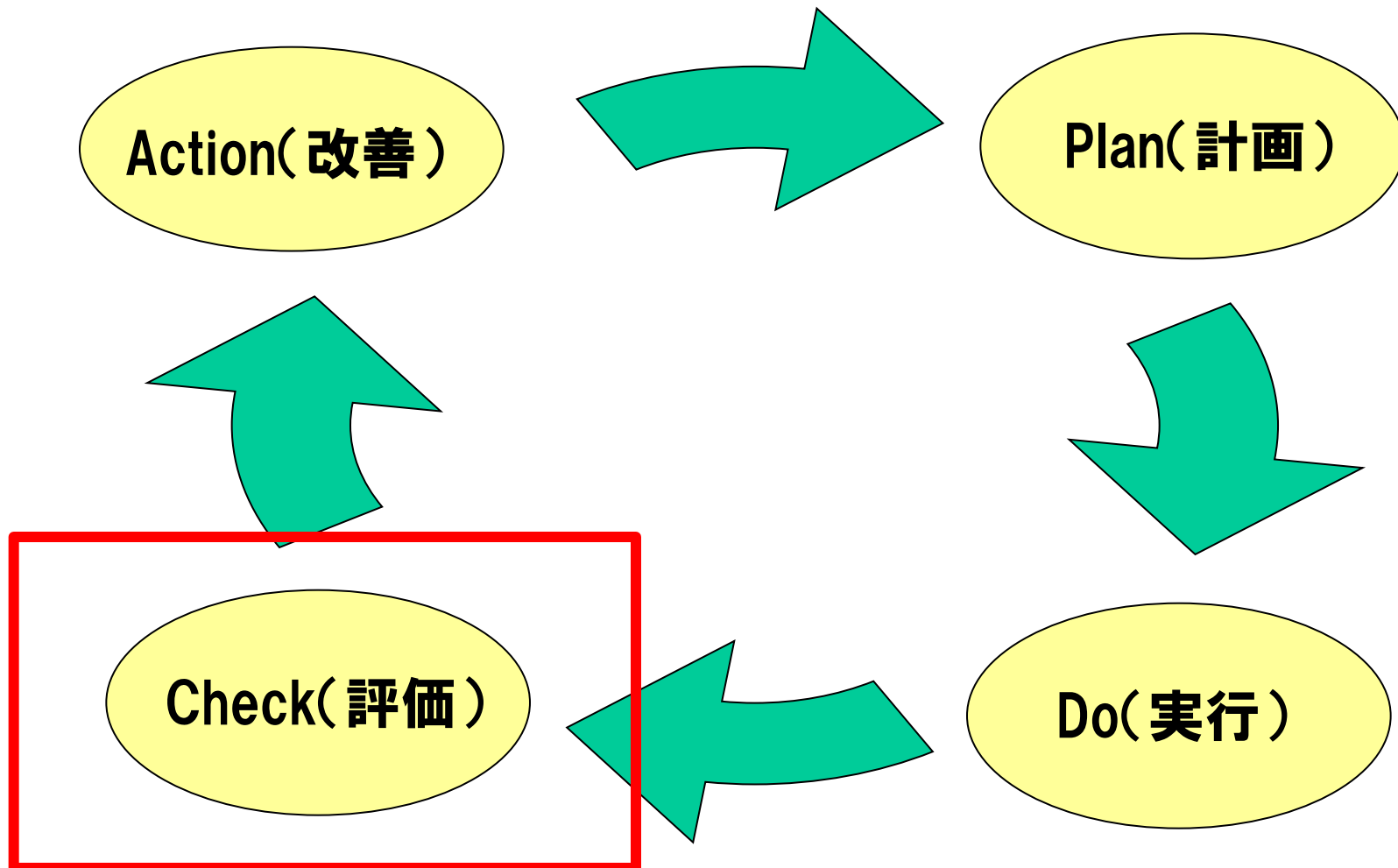
マニフェスト(公約)とは

- マニフェストとは、公職選挙の候補者(会派を含む)が当選後に実現しようとする政策を検証可能な形で示した公約集である。
- 首長候補者が掲げるマニフェストとは、①何を(目標や具体的施策)、②いつまでに(期限)、③どのようにして(手段)、④どれくらい(数値)実施し、⑤お金はとれくらいかかるか(予算)、を明示する。
- 今回の議員(議会)マニフェストには、多くの制約がある。例えば、議員(議会)は予算編成権がない。執行権もない。実際の政策推進の主体者は補助機関(自治体職員)等という制度的な障害がある。
- その結果、議員(議会)のマニフェストは、ある程度、抽象的にならざるをえない(上記の①～⑤はすべて網羅できない)。

PDCAサイクル

- PDCAサイクルは、民間企業の経営活動において、計画通りスムーズに進めるための工程サイクルである。
 - PDCAサイクルという名称は、一連のサイクルが4段階からなることから、その頭文字をつなげている。
- ① **P**lan(計画): 従来の実績や将来の予測などを考え、経営計画を作成する。
 - ② **D**o(実行): 経営計画に沿って事業を実行する。
 - ③ **C**heck(評価): 事業が計画にそっているかを確認する。
 - ④ **A**ction(改善): 事業内容を計画をふりかえり改善する。

PDCAを意識することが大事



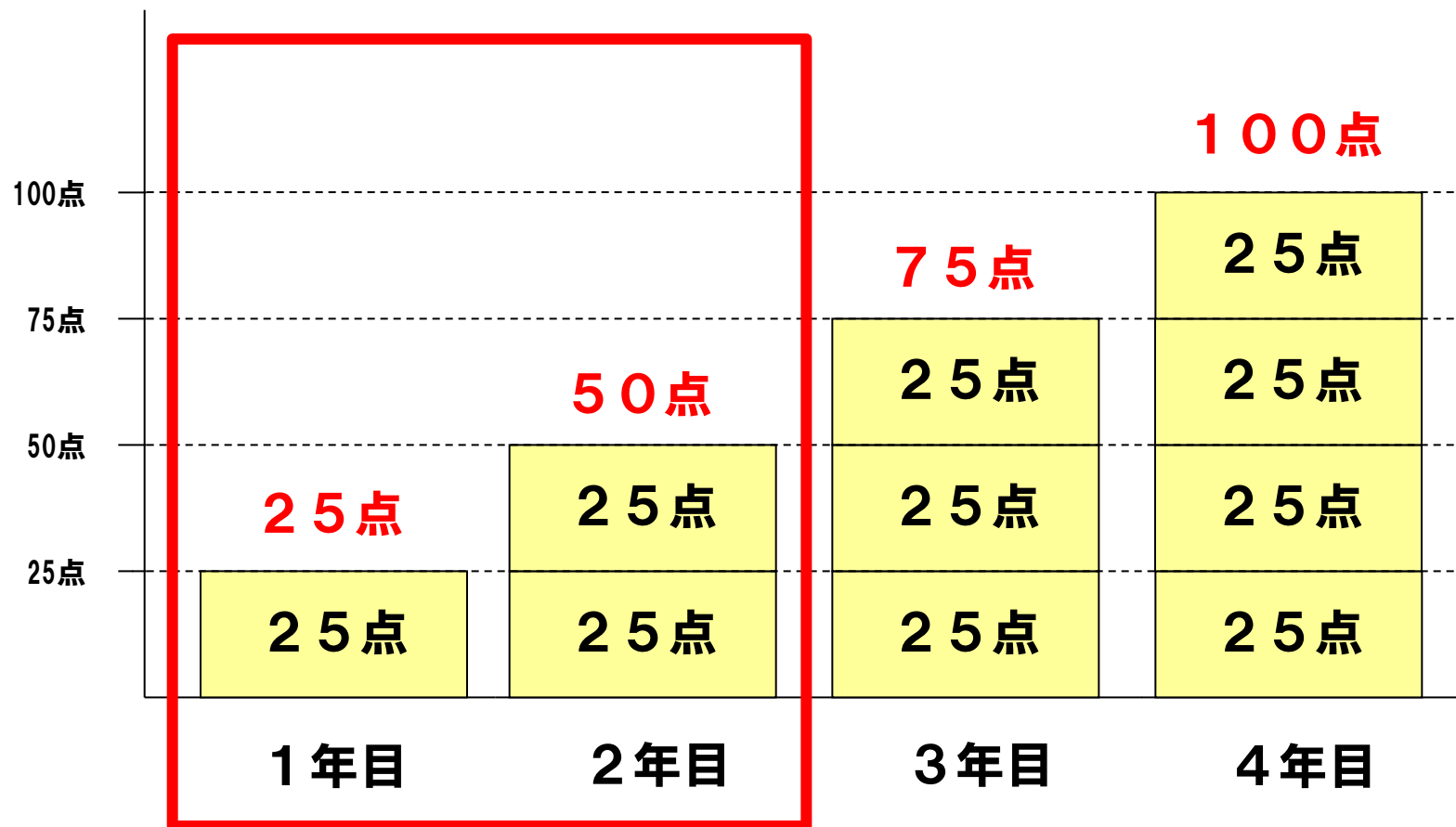
評価の体制

- マニフェストの評価は、①**内部評価**、②**外部評価**、**の2形態を採用することが望ましい**(内部評価しか実施していない評価は説得性をもたない)。
- 内部評価も外部評価も、**同じ評価基準を用いて実施することが望ましい**。
- 内部評価と外部評価の結果に**大きな差がつく場合は、どちらかに問題がある**。

① マニフェストとは何か

及第点の一視点

※今回は2023年2月定例会から2024年9月定例会までの議会活動の実績を評価する。



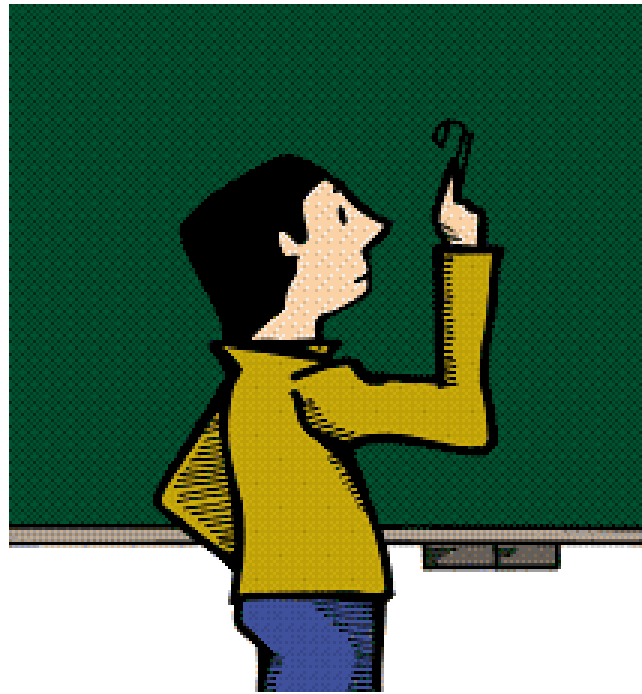
評価結果の捉え方

- 低い評価は、真摯に反省し、次のマニフェストに反映させていく。マニフェストを評価する一つの視点として、設定の時点で間違えていたことも顕在化できる(例えば、権限がないということや想定以上に財源がかかるなど)。
- 低い点数はやや見込みの甘さがあったと言える。これらの結果をいかすことにより、次のマニフェストを検討する際に大いに貢献する。
- その意味では、マニフェスト通り実施できないことをマイナス視するのではなく、できなかったことを「なぜできなかったのか」と検証するために役立てていく必要がある。
- マニフェストの評価は、モノサシとして活用し、次に活かしていくことが大切である。

マニフェストの現状と課題

- 今日、首長のマニフェスト評価は、ほとんど行われていない(行われなくなった)。
- 議会(会派を含む)は、まったくない。
- 議会は予算編成権と執行権がない。そのため「どれだけ質問を行ったか」による評価が中心となる(その質問に対して執行機関がどれだけ動いたか、まで数値化できると、よりよい)。
- 評価結果をもとに、任期までの議会活動を考えるのが「PDCAをまわす」という意味である。

評価方針・評価基準



評価方針 (1) 評価対象

- 評価対象は、行政活動15項目と議会改革(1項目)の合計16項目から構成している。
- 今回のマニフェスト評価は、16項目を評価の対象とした。

立憲民主・無所属の会さいたま市議団



基本方針「市民と共に明日を創る 2023」

明日のために改革を

1. 『誰ひとり取り残さない』視点での施策展開
2. 市政の透明化・情報発信強化と市民参画の推進
3. 事業等の見直しによる新たな財源確保

明日の世代を育みます

4. すべての子どもに学びと成長の機会充実
5. 社会全体で子どもと若者を支えるまち
6. 子育て世代に行き届く支援体制の構築

明日に向かっていきいきと

7. すべての市民の健康増進と福祉向上
8. 持続可能な働き方と経済成長の実現
9. 『人生100年時代』の学びとコミュニティの充実

明日のまちをつくります

10. 脱炭素・循環型社会とみどり豊かな都市の創造
11. 命と暮らしを守る防災力と地域安全の向上
12. 地域を支える交通体系の構築と都市基盤整備

明日の力は市民の力

13. 多様な価値観と人権尊重・ジェンダー平等の推進
14. 誰もが健康で心豊かにスポーツ・文化にふれあえるまち
15. 市民協働・公民学連携による地域課題の解決

市民と共に ～議会の「見える化」の推進を～

- ・ 議会デジタル化の推進
- ・ 市民の声に基づく政策提案の拡充
- ・ 議会におけるコンプライアンスの徹底

評価方針 (2) 評価材料

- ① 各項目につき、議会での各議員の発言の有無を確認した(本会議、委員会、予算委員会、決算委員会等)。
- ② ①を参考としつつ、執行機関の取組み状況を概観した。概観した視点は、執行機関においてどれだけ実行され実現しているか(実行実現性)、また今後の拡大の可能性(拡大予定性)を把握した。
- ③ ①と②を確認し、評価委員会の各評価者により、各項目について5点満点で評価した。
- ④ なお、大学生(15名)も評価している。ただし、大学生は1人あたり3項目程度の評価としている。

基本政策「市民と共に明日を創る2023」評価体制

立憲民主・無所属の会さいたま市議団

①評価依頼

②評価結果

【評価委員会】

【学識者評価】

- ・ **須永由美子**
オフィスアンダンテ合同会社代表
- ・ **高橋恒夫**
社会構想大学院大学客員准教授
- ・ **牧瀬稔**
関東学院大学法学部教授

【大学生評価】

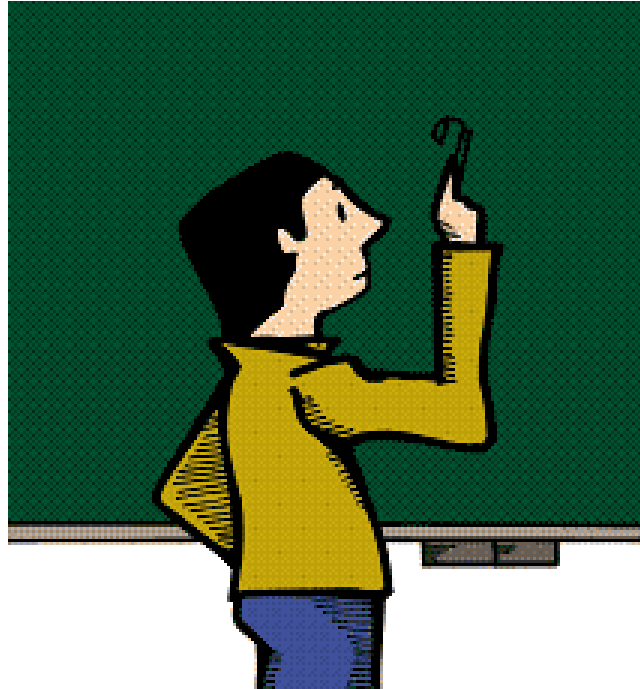
牧瀬稔ゼミナールに所属する
15名の大学3年生

※牧瀬が評価結果を取りまとめた。

評価基準

基準	点数	備考(判断基準)
会派で質問、要望して、 行政(もしくは議会)が着手し 実現している	5点	(優) 質問か予算要望、提案をして行政(もしくは議会)が 着手し、何かしら結果を導き出している場合
会派で質問、要望した結果、 行政(もしくは議会)が着手した	4点	(良) 質問か予算要望、提案をして行政(もしくは議会)が 何かしら着手したと判断される場合
会派で検討して、 質問、要望をした	3点	(可) とりあえず質問か予算要望、提案をしている場合
会派で検討したが、 質問、要望はしなかった	2点	(不可) 会派で検討した経過は見られるが、 議会(定例会や委員会等の公式の場で)質問か 予算要望、提案をしていない場合
会派で(まったく)検討していない	1点	(評価に値しない) 会派でまったく検討していないと判断される場合

評価結果



評価結果

(1) 個別評価

- ① 明日のために改革を
- ② 明日の世代を育みます
- ③ 明日に向かっていきいきと
- ④ 明日のまちをつくります
- ⑤ 明日の力は市民の力
- ⑥ 市民と共に ～議会の「見える化」の推進を～

①～⑤は各 3 項目、⑥は 1 項目の
合計 16 項目を評価対象とした

明日のために 改革を

4.6点 / 5点

<コメント>

- 障害者や犯罪被害者、人権擁護など質問はしているものの、より一層の施策具体化や啓蒙に向けた働きかけを望みたい。
- 市民参画(投票率向上他)やSNS活用(情報発信)、文書管理規程改正については一定の成果`みられる。市政透明化について更に期待する。
- 住民参加型予算については引続き質問をして欲しい。
- 事業見直しなどは質問や提案が若干物足りないが、入院医療費位補償サービスやスマホ決済などは導入見通しとして一定の成果がある。

明日の世代を はぐくみます

4.7点 / 5点

<コメント>

- solaる一むやフリースクールHP、スクールダッシュボード活用等、子どもの居場所や学び支援への働きかけが熱心に実施されている。
- 配慮が必要な子ども支援や公園のルール化など具体的成果に結びついているものもあるが、待機児童が全国3位と多い課題に対しては質問は重ねているものの、より一層の具体的な施策の提案を求めたい。
- 多子児親への支援や保育園放課後児童クラブの手続き共有化、ひとり親家庭への支援など具体化できている。

明日に向かっていきいきと

4.1点 / 5点

<コメント>

- 障害者信号機の対応や高齢者自転車教室など具体的施策につながった例も。また他市の事例をもとに生活困窮者対策の提案がされている。
- キャリアリターン制度導入など具現化施策もあるが、女性管理職増への取り組みなどについては民間の取り組みなどを参考により一層の提案を望みたい。
- 質問が多岐にわたり、内容も深い。

明日のまちをつくります

4.8点 / **5点**

<コメント>

- スクラップヤード規制やプラスチック資源回収、30by30実現へ向けた取り組みなど、質問や提案を通して市政に一定の反映がされている。
- 高齢者の移動手段としての支援策や樹木のケア、西浦和駅周辺のまちづくり等は市の具体的アクションにつながり成果がでている。
- 市民生活の視点からのよい質問が多い。できれば、「未来」についての具体像を引出して欲しい。

明日の力は 市民の力

4.2点 / 5点

<コメント>

- 男女共同参画・ジェンダーレスへの意見提言はなされている。外国人やLBGTQ+等価値観多様化については一層の具体化提案を今後に期待する。
- さいたまマラソンや国際芸術祭などの課題や成果について質問提案を行なっているが、緊急度観点から仕方ないとはいえ他項目と比較すると物足りない。
- 課題についての質問であるが、引き出した回答がやや抽象的である。

市民と共に ～議会の「見える化」の推進を～

3.7点 / 5点

<コメント>

- 議会デジタル化はペーパーレス程度で物足りないが、市民の声からの政策提案拡充はネットの条例への追記や高校生との取り組みなど一定の成果も見られる。
- 年1回という回数ではなく、ハラスメント講習での受講議員からの意見や行動変革を促す施策案についての回答を引き出す必要があると思料する。

評価結果

●合計点

70.6点 / 80点

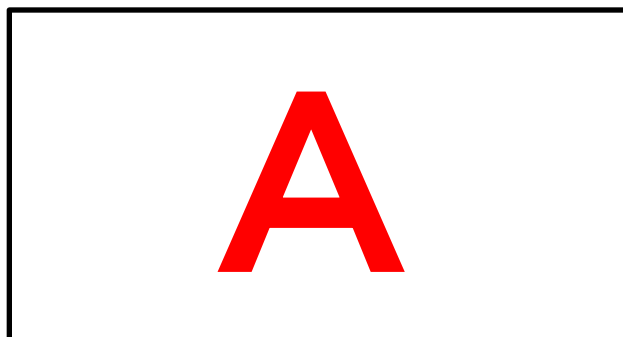
●達成率

88.3% / 100%

総合評価は「**かなり良い結果**」と判断される

③評価結果

大学の成績評価に当てはめると・・・

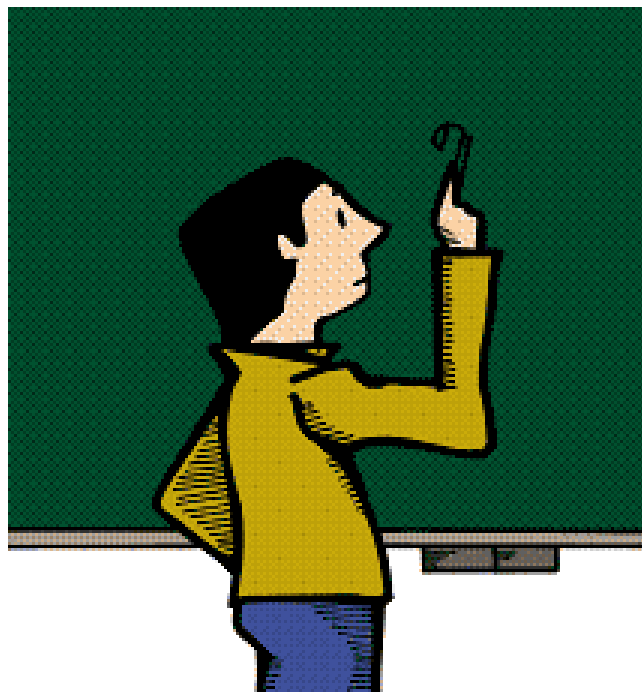


点数	評価		コメント
100～90点	S	秀	特に優れた成果を残した公約（マニフェスト）
89～80点	A	優	優れた成果を残した公約（マニフェスト）
79～70点	B	良	妥当と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
69～60点	C	可	合格と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
59点以下	D	不可	合格と認められる成果を残していない公約（マニフェスト）
未評価	F	未評価	公約（マニフェスト）を実施したには値しない

③評価結果

	A評価者	B評価者	C評価者	平均点
明日のために改革を				
1.『誰ひとり取り残さない』視点での施策展開	3	5	5	4.3
2. 市政の透明化・情報発信強化と市民参画の推進	5	4	5	4.7
3. 事業等の見直しによる新たな財源確保	4	5	5	4.7
明日の世代を育みます				
4. すべての子どもに学びと成長の機会充実	5	5	5	5.0
5. 社会全体で子どもと若者を支えるまち	4	4	4	4.0
6. 子育て世代に行き届く支援体制の構築	5	5	5	5.0
明日に向かっていきいきと				
7. すべての市民の健康増進と福祉向上	4	5	5	4.7
8. 持続可能な働き方と経済成長の実現	4	4	4	4.0
9.『人生100年時代』の学びとコミュニティの充実	3	4	4	3.7
明日のまちをつくります				
10. 脱炭素・循環型社会とみどり豊かな都市の創造	5	5	5	5.0
11. 命と暮らしを守る防災力と地域安全の向上	5	5	5	5.0
12. 地域を支える交通体系の構築と都市基盤整備	5	4	4	4.3
明日の力は市民の力				
13. 多様な価値観と人権尊重・ジェンダー平等の推進	4	5	5	4.7
14. 誰もが健康で心豊かにスポーツ・文化にふれあえるまち	3	5	5	4.3
15. 市民協働・公民学連携による地域課題の解決	3	4	4	3.7
市民と共に ～議会の「見える化」の推進を～				
・ 議会デジタル化の推進 ・ 市民の声に基づく政策提案の拡充 ・ 議会におけるコンプライアンスの徹底	4	3	4	3.7
合計点(80点満点)	66	72	74	70.7
達成率	82.5%	90.0%	92.5%	88.3%

おわりに



おわりに

- 評価結果は、100点満点で88.3点となった。評価の対象期間を約2年と考えるならば、とてもよい成果である。
- 残りの任期で100点を目指すことになるが、大きく進展しても100点より数字がよくなることはない。
- 本来は、マニフェストに掲げた内容を有権者に示して、選挙を戦うことになるが、今回は既によい点数であるため、(選挙はないが)有権者の要望を把握し、それぞれの政策(例えば「明日のために改革を」)に一つずつ新しい事業(政策)を追加してもよいかもしいない(マニフェストの進化形態と言えるかもしれない)。

おわりに

- 既に指摘しているが、議会（議員）は執行権がないため、定例会や委員会での議員質問により評価している（アウトプット評価と言える）。
- 今後、マニフェスト（の実効性）を強くするために、議員質問により、執行機関が具体的にどのような活動を行い、そして、どのような成果が導出されたか（あるいは、導出されなかったか）までも、評価の対象としてもよいかもしれない。
- この場合は、（評価資料をそろえるために）執行機関の協力が必要となる。ある意味、監視機能の強化につながるため、検討されたい。

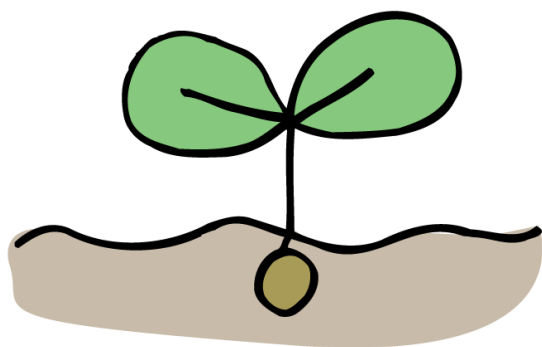
おわりに

- 最初にも言及したが、近年は、選挙においてマニフェストの提示が少なくなっている。
- マニフェストを掲げずに選挙戦に臨んでいる(その結果、選挙が単なる人気投票と化している)。
- マニフェストがないため、評価しない傾向も強くなっている。PDCAをまわしていない。
- 立憲民主・無所属の会さいたま市議団は、そうならないようにしていただきたい。
- どこまでも真面目に政策にとりこんでいただき、会派、他議会のモデルとなるような、マニフェストサイクルを形成してほしい。

ありがとうございました。

ご意見・ご質問などは、

makise@kanto-gakuin.ac.jp にご連絡下さい。



牧瀬 稔